

令和5年度 一般会計決算附属資料

医療部 主要な施策の成果

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	医療部
	項	01 保健衛生費	386千円		386千円	0千円	100.0 %		
	目	06 医療対策費					(参考)当初予算額	課	医療政策課
	事業	01 地域医療体制整備補助金					386千円		
基本計画		09 地域包括医療・ケア体制の充実		主な財源					
目的		民間病院が行った施設整備に対して支援を行うことにより、市民が安心して生活できる医療環境を確保する。							
主要な事務・事業の概要		地域医療を支える民間病院の施設・設備整備に係る借入金利子を補助対象として、補助金を交付した。 ○地域医療体制整備補助金 386千円 対象医療機関：特定医療法人三青園丹後ふるさと病院							

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	医療部
	項	01 保健衛生費	60,052千円		60,052千円	0千円	100.0 %		
	目	06 医療対策費					(参考)当初予算額	課	医療政策課
	事業	02 公的病院等運営事業補助金					60,052千円		
基本計画		09 地域包括医療・ケア体制の充実		主な財源					
目的	地域に必要な不採算医療等の機能を担う公的病院等に対し、救急医療を実施する上で必要な経費に対して補助を行うことにより、本市の医療提供体制を確保する。								
主要な事務・事業の概要	公的病院等が、救急医療を実施する上で必要となる医師・看護師等職員の当直及び待機等に係る費用を対象経費として補助金を交付した。								
	○公的病院等運営事業補助金 対象医療機関：公益財団法人丹後中央病院（救急告示病院） 対象経費：66,698千円								
				成果・課題	○市内の救急医療体制は、市立2病院と民間1病院が担っており、当該補助金の交付により本市における救急医療体制を維持することができた。 ○引き続き支援を行い、救急医療体制を維持していく必要がある。				

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	医療部
	項	01 保健衛生費	3,919千円		3,919千円	0千円	100.0 %		
	目	06 医療対策費					(参考)当初予算額	課	医療政策課
	事業	03 休日応急診療事業					3,919千円		
基本計画		09 地域包括医療・ケア体制の充実		主な財源					
目的	休日における急病患者の診療について、市内の医療機関に委託することにより、市民が安心して生活できる救急診療体制を確保する。								
主要な事務・事業の概要	休日や年末年始における急病患者の診療を市内の医療機関に委託した。								
	○休日応急診療業務委託料 実施医療機関：丹後ふるさと病院、中江医院 ※弥栄病院、久美浜病院でも実施 実施日数：72日（日曜、祝日、年末年始） 午前9時から正午、午後2時から午後5時 延べ患者数：1,943人								
					成果・課題	○休日・年末年始において、応急的な診療を受けられる医療機関を委託により確保することで、救急診療体制を維持することができた。 ○直営で休日診療所開設する場合と比較すると、医師・看護師等の医療スタッフの体制確保の面や費用対効果の面でも業務委託が有効である。 ○実施協力医療機関の安定的な確保が課題である。			

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	医療部	
	項	01 保健衛生費	100,400千円		100,400千円	0千円	100.0 %			
	目	06 医療対策費					(参考)当初予算額	課	医療政策課	
	事業	04 市立診療所繰出金					90,400千円			
基本計画		09 地域包括医療・ケア体制の充実	主な財源	繰入金 再編交付金事業基金繰入金 19,000千円						
目的		誰もが安心して医療を受けられる地域医療の維持・充実を図るため、市立診療所の運営に必要な経費を繰り出す。								
主要な事務・事業の概要	国民健康保険直営診療所事業特別会計へ市立診療所運営経費及び市債の元利償還金の一部を繰り出した。									
	○国民健康保険直営診療所事業特別会計繰出金 100,400千円									
	＜繰出金の内訳＞ (単位：千円)									
		間人診療所	野間診療所	佐濃診療所	大宮・五十河診療所	宇川診療所	合 計	備 考		
	公債費	4,399		45	9,397	28,285	42,126			
	診療体制確保費用	6,411					6,411	人件費		
	医師等派遣費用	6,515	1,699	2,881			11,095			
	施設管理費用			29	31	1,901	1,961	修繕料、保険料等		
	指定管理委託料				746	38,061	38,807			
	合 計	17,325	1,699	2,955	10,174	68,247	100,400			
		成果・課題								

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	医療部
	項	01 保健衛生費							100.0 %			
	目	06 医療対策費	1,305,000千円		1,305,000千円		0千円		(参考)当初予算額		課	医療政策課
	事業	05 市立病院繰出金							1,305,000千円			
基本計画		09 地域包括医療・ケア体制の充実		主な財源	諸収入 人生100年時代づくり・地方創生リノ事業交付金 3,000千円							
目的		市立病院の運営を維持するため、必要な経費の一部を一般会計から病院事業会計に繰り出す。										
主要な事務・事業の概要	地方公営企業法第17条の2の規定による経費の負担の原則、「地方公営企業繰出金について」等に基づき算定した繰出基準額を基本とした病院事業会計への繰出金 ○病院事業会計繰出金 1,305,000千円 ＜繰出金の内訳＞ (単位：千円)											
			弥栄病院 (199床)			久美浜病院 (170床)			合 計			
			基準内		基準外	基準内		基準外	基準内		基準外	
	収益的収入	医業収益	251,522	251,522	0	211,996	211,996	0	463,518	463,518	0	
		医業外収益	266,452	224,235	42,217	232,960	230,672	2,288	499,412	454,907	44,505	
		小計	517,974	475,757	42,217	444,956	442,668	2,288	962,930	918,425	44,505	
	資本的収入	他会計負担金	174,811	138,975	35,836	167,259	104,969	62,290	342,070	243,944	98,126	
		小計	174,811	138,975	35,836	167,259	104,969	62,290	342,070	243,944	98,126	
	合 計		692,785	614,732	78,053	612,215	547,637	64,578	1,305,000	1,162,369	142,631	
	成果・課題											

予算科目目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	医療部
	項	01 保健衛生費	4,800千円		4,800千円	0千円	100.0 %		課
	目	06 医療対策費					(参考)当初予算額		
	事業	06 医療確保奨学金貸与事業					10,200千円		
基本計画		09 地域包括医療・ケア体制の充実		主な財源					
目的	市立病院等の医療機関において医師業務に従事する意思を有する者に対し、奨学金を貸与することにより、市の医療体制の充実に必要な医師の確保を図る。								
主要な事務・事業の概要	将来、市立病院等の市内医療機関に医師として勤務する意思を有する医学生及び研修医に対し、奨学金を貸与した。								
	○医療確保奨学金等貸与額 貸与者 ： 2人（うち、新規貸与者なし） 貸与期間 ： 令和5年4月～令和6年3月 ・一般診療科志望者（小児科、産婦人科以外）への貸与 月額200千円×12月×2人								
				成果・課題	○令和5年度までの貸与者22人（重複含む23人）のうち、これまで6人（重複含む7人）が市立病院に勤務しており、目的に対する成果が発現している。 ○制度利用希望者への周知のため、広報を強化するとともに、指導医の確保に努めるなど、制度利用者が市立病院等の市内医療機関で勤務しやすい体制を整える必要がある。				

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	医療部	
	項	01 保健衛生費	133千円		225千円	92千円	59.1 %			
	目	06 医療対策費					(参考)当初予算額	課	医療政策課	
	事業	50 医療対策一般経費					579千円			
基本計画		09 地域包括医療・ケア体制の充実		主な財源						
目的	地域医療の充実と市立病院・市国民健康保険直営診療所の運営、調整のための一般経費									
主要な事務・事業の概要	地域医療の充実を図るために必要となる事務を執行するとともに、医療確保のため京都府立医科大学等の大学関係者や医療関係者を訪問した。									
	○旅費									42千円
	○消耗品費（事務用品等）									33千円
	○有料道路通行料、駐車場使用料		58千円							
				成果・課題	引き続き医師の招へいに向けた情報収集や要望活動を展開するとともに、本市の医療提供の現状確認、医療機関連携等を考えながら、更なる医療提供体制の充実に努める必要がある。					